

## 令和6年度 8月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年8月21日(木)
- ◎開催日時 令和6年8月26日(月) 午後1時30分～午後3時15分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、黒河内教育委員、宮坂教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

### 1 開 会

#### 2 あいさつ 教育長

- ・お盆過ぎたと言いながらも、暑い毎日が続いたり、また急に土砂降りだったり天候が不順な時期になっている。
- ・伊那市の学校21校中20校の夏休みが終わり、最後の学校が本日26日をもって夏休みが終わる。今のところ20校が2学期、あるいは下半期をスタートしたが、特に大きな事故もなく夏休みを過ごせたと思う。
- ・教育委員の皆様には、お盆中の二十歳のつどいへ参加いただいた。久しぶりに会う友達との語らいがとても楽しそうに、また恩師と話すなど、私もその時間を共有させてもらった。
- ・来年の二十歳の集いの参加者は、いよいよキャリアフェスで市内6校の2年生が集まった初めての子どもたちが出てくる年になる。二十歳の集い自体も、そういうものが過去にあった子どもたちであることを踏まえながらの検討をしたい。
- ・2学期もよろしくお願ひしたい。

#### 3 委員のひと言 黒河内

- ・HLAB 信州2024は、伊那市に移住してくる人が風越学園と伊那小を見て、決めて、移住してくるが、風越学園を知らないのは片手落ちということで、風越学園の学校開放日にお邪魔させていただいた。そこでHLABOの関係者と出会い、伊那市でサマースクールができれば良いとの話になり、実現した。
- ・上伊那の高校生の地域枠は10名、全国から合わせて80人の高校生が集まり、運営では全国からの大学生ボランティアにより行われ、その中の佐野さんは、伊那市全体で行ったキャリアフェス第1期の副実行委員長で、今回はリードしていく姿があった。
- ・13日の前入りから本番は14日からスタートし、ホームステイでは3人受け入れ、宿帳に記入してくれ、繋がりが広がっていく貴重な体験をさせてもらった。
- ・伊那市のまちづくりの関係では、11月9日に賑わい創出のイベントに向けて、高校生スタッフが集まり役員決めを行った。
- ・どんな大人と関わったかということが大事だということを改めて感じ、自覚を持ちながらこれから行動する必要があると思った。

### 4 会議事項

#### 第1 教育長報告

- ・8月3日の伊那まつりでは、いなっせ前でポスターの表彰式が行われ、春富中学校の2年生が最優秀賞、その他6名の子たちが市民の皆さんが見守る中で表彰を受けた。
- ・8月7日には教頭との懇談会があり、本当にいい時間をもらえたという声を聞いており、教頭

先生にとっても大事な時間だったと思う。

- ・ 8月14日のHLABでは風船を揚げる、毎年そういうオープニングをするということでした。
- ・ 8月19日には東部中ビーチバレーが全国大会に出場するという事で表敬訪問に来られた。バレーボール部員たちが、中体連が早めに終わり、顧問の先生の発案で練習を始めて、全国大会の切符を取ったということでした。
- ・ 信州高遠美術館では若手アーティスト麓芸落合ということで6人の新進気鋭の伊那谷の皆さんの作品が提示されている。県展では、南信地域の皆さんの素晴らしい作品が一堂に展示されており、中でも高遠焼きの浦野さんは、3回審査をかけて3回とも満票で決まった作品ということで、そのような美術展が始まっており、足を伸ばしていただけたらと思う。

## 第2 協議事項

### (1) 上伊那教育課程研究協議会担当学校について

- ・ 学校教育課長、指導主事から資料に基づき説明
- ・ 教育長から「県教委から、これからの教育課程研究協議会のあり方を再検討するため、今までの取組を総括し来年度については県全体、全地域での実施は来年1年間、一時休止する、それぞれの地区で開催する場合はバックアップする旨の説明があった。」との補足があった。
- ・ その他、質問、意見はなく、原案どおり決議された。

## 第3 報告事項

### (1) 「中学生の自習室2024夏」の実績報告について

- ・ 学校教育課長から資料に基づき説明
- ・ 教育委員から「スタッフの感想には、『当初の目的に戻って今後の方向を考えた方が良い。企画の趣旨を理解し、担任が個別に参加を促す道筋を説明していきたい。』とあるが、本来の目的、表向きの目的について改めてお聞きしたい。」との質問があり、学校教育課長から「目的は、長期の休み中に食事が十分にとれない生徒さんに食事をしっかりとっていただくこと、併せて、基礎的な学力を身につけて欲しいということとなっている。」旨の説明があった。
- ・ 教育委員から「その点は、どうであったか。」との質問があり、学校教育課長から「子ども相談室を通して呼びかけをしている生徒のうち1人が自習室に参加している。対象の生徒にどうやって来てもらうのか、アプローチの仕方など、参加者を増やしていくところの検証が必要と考えている。」旨の回答があり、教育委員から「大事なことなので、最初からそこにまっすぐに触れて報告いただくところだと思うので、今後はそのようにお願いしたい。」との意見があった。
- ・ 指導主事から「参加については、校長会では伝えているが、校長の伝え方が適切かどうかということもある。表向きは中学生の居場所作りであり、表立って塾に通えないからこちらへ、食事が無いからこちらへ、ということと言えないので、子ども相談室と連携しながら考えてまいりたい。」旨の意見があった。
- ・ 教育長から「この間の取り組みを総括し、もう1回どんな形を取っていくか、検討し直す必要があると話している。来年度以降のあり方については検討していく。」旨の補足があった。

### (2) 「おいで塾事業」の実績報告について

### (3) 「二十歳のつどい」の実績報告について

- ・ (2)、(3)について、生涯学習課長から資料に基づき説明
- (2) 「おいで塾事業」の実績報告について
- ・ 教育委員から「おいで塾のスタッフには主任児童委員や民生委員が入っており、その立場で参加した。2学期に持っていく雑巾を縫うということで取り組んだが、1、2年生は一生懸命

取り組み仕上げています。高学年は集中力が途切れて仕上げられなかった。参加する子どもの意識の持ち方が難しいなど感じた。」との意見があり、教育長から「居場所という言葉が非常に出てきている中で、公民館の事業として取り組むことがどうか、難しいところに来ていると感じている。上戸分館では夏休み中、公民館を開放して居場所にしたという話があり、うまくかみ合っていてくれれば良いと思う。」とのコメントがあった。

#### (3) 「二十歳のつどい」の実績報告について

- ・教育委員から「いなっせ会場に参加した。ここ数年、落ち着いており、成人代表者の挨拶も素晴らしくて、教育全体が郷土に対する愛着や思いを育んだり、自然だったり、人と関わる教育が積み重なり、地域に残って就職し、どんな役割を果たすべきか意識してもらえ人たちが増えてきた。中には、晴れ舞台なのでちょっと日頃しない格好をした子もいましたが、以前のように、ぶち壊しのような雰囲気は全くなかった。キャリアフェスを始めてから年月が立つ中で、中学2年生の彼らが社会に出ると、あの時に感じたこの地域の人の熱量を、今度は自分たちが表していく立場になる。市長のメッセージもすばらしく、生で聞けたらもっとよかったと思う。熱量のある人の話を生で聞く、今後、部活動の交流が始まるなど、学校の枠を超えた活動が始まる実情を考えると、全体での取り組みに変えていくことも、一つの大きな力になると感じる。先ほどの公民館活動や地域の活動、消防団活動など、公平性を求めなければならない部分もあると思うが、教育委員会含めて、推奨している活動にはどのような活動があるのか、ただ単に会社と自宅の行き来だけではなく、例えば社会体育の部が募集したり、地域活動の申込書を書いたり、ロビーで説明が聞ける活動を行ったりするなど、みんなでお祭りの行う場所としての二十歳の集いになると、非常に地域としてのエネルギーになると思う。来季以降、転換期としては良いタイミングになると思う。」との意見があった。
- ・教育長職務代理者から「西春近公民館では成人の皆さんの姿勢は同様だった。運営面で感心したことで、南海トラフの特別情報期間だったが、開会前に担当の方から『有事の際には案内をします、基本避難場所はここです。』という案内があつて始まった。参加された皆さんには、危機管理など非常に良い参考になったと思う。」との意見があった。
- ・教育委員から「富県地区では1人1鉢の蘭の花が置いてあり、皆さんでお祝いしている雰囲気があった。代表者の挨拶も大変素晴らしかった。対象者38人のうち、1人は名前を載せないで欲しいという方がおり、少し寂しく感じるが、他の地域でも同様か、お伺いしたい」との質問があり、生涯学習課長から「初めてお聞きした。確認しておく。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「東春近地区では以前より子どもたちが非常に落ち着いていると感じた。伊那市の歌の歌声はあまりに声が小さく、少し残念だった。また、東春近小は老松塚古墳の調査を行った学年であり、その時の先生が話をされて、小学校として行ったことだけでも、大学の研究者から見ても非常に価値のある調査をしたということで、成果の大きさを非常にわかりやすく説明していただき、私も勉強になった。」との意見があった。
- ・教育長から「公民館ごとに色が少しずつ違うと思う。いろんなご意見いただいたので、改めてこれから先の二十歳の集いをどうしていくかを考えていきたい。」とのコメントがあった。

#### (4) 人権同和教育事業について

- ・学校教育課長、社会教育指導員から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

#### (5) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・教育長から「大変な作業を進めていただいている。コンパクトにまとめることの方が大変だと思うが、よろしく願いたい。」旨のコメントがあった。

(6) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

(7) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明

6 閉 会